

【1AM-82】音の心理的属性を表す量の単位でないのはどれか。

- a. パスカル
- b. フォン
- c. ソーン
- d. メル
- e. ヘルツ

1. a、b 2. a、e 3. b、c 4. c、d 5. d、e

【2AM-81】難聴耳における 250Hz の音のレベル表示値の大小関係で正しいのはどれか。

- 1. 音圧レベル>聴力レベル>感覚レベル
- 2. 音圧レベル>感覚レベル>聴力レベル
- 3. 聴力レベル>感覚レベル>音圧レベル
- 4. 聴力レベル>音圧レベル>感覚レベル
- 5. 感覚レベル>音圧レベル>聴力レベル

【2AM-82】純音の持続時間を 1 秒から 0.01 秒にしたときの変化で誤っているのはどれか。

- 1. 周波数スペクトルは線スペクトルになる。
- 2. 聴覚閾値は上昇する。
- 3. クリック音様の音色に近づく。
- 4. ピッチは不明瞭になる。
- 5. ラウドネスは低下する。

【3AM-82】音の心理的大きさについて正しいのはどれか。

- 1. 音圧レベルが等しい 2 つの音の大きさは等しい。
- 2. 1,000Hz の純音では音の大ききのレベルと音圧レベルの値は等しい。
- 3. 音圧の増加に伴う音の大ききの増加率は 100Hz より 1,000Hz の方が大きい。
- 4. 10 フォンは 1 フォンの大ききの 10 倍である。
- 5. 10 ソーン増すごとに大ききは約 2 倍となる。

【4AM-84】40 フォンの純音と同じ大ききの純音はどれか。

- 1. 1kHz, 40dB SL
- 2. 1kHz, 40dB SPL
- 3. 2kHz, 40dB HL
- 4. 2kHz, 40dB(A)
- 5. 2kHz, 40 ソーン

【5AM-81】1kHz、40dB SPL の純音の 2 倍の大ききに聞こえる音はどれか。

- 1. 43dB SPL
- 2. 46dB SPL
- 3. 50dB SPL
- 4. 53dB SPL
- 5. 60dB SPL

【5AM-82】1kHz、40dB SPL の純音の 2 倍の高さに聞こえる周波数はどれか。

- 1. 約 1kHz
- 2. 約 1.5kHz
- 3. 約 2kHz
- 4. 約 3kHz
- 5. 約 4kHz

【6AM-78】線形増幅の補聴器に純音を入力したとき正しいのはどれか。

- 1. 出力は倍音を含む複合音になる。
- 2. 出力は連続スペクトルになる。
- 3. 入出力間で位相は不変である。
- 4. 入出力間で振幅は不変である。
- 5. 入出力間で周波数は不変である。

【6AM-79】メル尺度で表す関係はどれか。

- 1. 純音の周波数と音の大きさ
- 2. 純音の周波数と音の高さ
- 3. 純音の音圧と音の大きさ
- 4. 純音の音圧と音の高さ
- 5. 純音の音圧と音の強さ

【6AM-80】ソーン(sones)について正しいのはどれか。

- 1. 1,000Hz、40dB SPL の純音の大ききが 1 ソーンである。
- 2. 1,000Hz、40phon の純音の高さが 1,000 ソーンである。
- 3. 1,000Hz、40dB SPL の純音の高さが 1 ソーンである。
- 4. 1,000Hz、40dB SPL の純音の大ききが 1,000 ソーンである。
- 5. 1,000Hz、40dB SPL の純音の高さが 1 ソーンである。

【7AM-82】音の 3 属性に含まれないのはどれか。

- a. 大きさ
- b. 高さ
- c. 強さ
- d. 周波数
- e. 音色

1. a、b 2. a、e 3. b、c 4. c、d 5. d、e

【7AM-83】音の持続時間と聞こえとの関係で正しいのはどれか。

- 1. 持続時間に関係なく同じ大ききに聞こえる。
- 2. 持続時間が長いほど大きく聞こえる。
- 3. 持続時間が長いほど高く聞こえる。
- 4. 一定の持続時間以上では長いほど大きく聞こえる。
- 5. 一定の持続時間以上では同じ大ききに聞こえる。

【8AM-80】線形フィルタの特性はどれか。

1. 入力音が小さいと利得が増大する。
2. 純音を入力すると複合音出力される。
3. 入力音圧に応じて周波数特性が変化する。
4. 入力音圧を n 倍すると出力が n 倍になる。
5. 入力音が急に増大すると利得が減少する。

【8AM-83】1,000Hz、40dB SPL の純音の強さを 10 倍にした音の大きさはどれか。

1. 約 1 ソーン
2. 約 2 ソーン
3. 約 3 ソーン
4. 約 6 ソーン
5. 約 10 ソーン

【9AM-81】音場で 2,000Hz、40dB SPL の純音を聴取したときの感覚について正しいのはどれか。

1. 高さは 1 メルにほぼ等しい。
2. 高さは 1,000Hz 純音の約 3 倍である。
3. 大きさは約 40 フォンである。
4. 音圧が 10dB 増すと大きさは約 10 倍になる。
5. 250Hz、40dB SPL の純音の大きさより小さい。

【10AM-81】感覚レベル 20dB の純音の音圧の弁別について誤っているのはどれか。

1. 弁別閾は Pa で表す。
2. 比較弁別閾は dB で表す。
3. ウェーバーの法則が成り立つ。
4. 内耳性難聴では 1dB の違いを弁別できる。
5. 内耳性難聴では比弁別閾が低下する。

【11AM-42】健全耳で 1 ソーンのラウドネスとなる音圧が最も大きいのはどれか。

1. 125Hz
2. 250Hz
3. 500Hz
4. 1,000Hz
5. 2,000Hz

【11PM-140】音の振幅を変えないで持続時間を 1 秒から 0.002 秒にしたときの聴覚閾値の上昇量に近いのはどれか。

1. 0dB
2. 10dB
3. 20dB
4. 30dB
5. 40dB

【12AM-41】線形システムについて誤っているのはどれか。

1. 入力信号の大きさを 10 倍にすると出力も 10 倍になる。
2. 入力信号の大きさが零であれば出力も零になる。
3. 入力信号が純音であれば出力も純音になる。
4. 入力信号の周波数は出力でも変わらない。
5. 入力信号の波形は出力でも変わらない。

【12AM-42】1,000Hz 純音波形から切り出した 1 ミリ秒分の音について正しいのはどれか。

1. 1,000Hz の高さに聞こえる。
2. 1,000Hz より高く聞こえる。
3. 1,000Hz より低く聞こえる。
4. クリック音のように聞こえる。
5. 白色雑音のように聞こえる。

【13AM-42】50dB SL における音の強さの（比）弁別閾で正しいのはどれか。

1. 周波数が高くなるほど小さくなる。
2. 周波数が低くなるほど小さくなる。
3. 周波数による差は、ほとんどない。
4. 1,000Hz 付近で最も小さくなる。
5. 1,000Hz 付近で最も大きくなる。

【13PM-142】正しいのはどれか。

1. 平均律で 12 半音階高い音は基の音の 2 倍の高さに感じる。
2. 1 オクターブ高い音は基の音の 2 倍の高さに感じる。
3. 1,000 メル、2 ソンの純音は、1,000 メル、1 ソンの 2 倍の高さに感じる。
4. 2,000 メル、1 ソンの純音は、1,000 メル、1 ソンの 2 倍の高さに感じる。
5. 2,000Hz、1 ソンの純音は、1,000Hz、1 ソンの 2 倍の高さに感じる。

【14AM-42】最も大きく聞こえるのはどれか。

1. 80dB SPL の白色雑音
2. 80dB SPL、125Hz の純音
3. 80dB SPL、1,000Hz の純音
4. 2 ソーン、1,000Hz の純音
5. 4 ソーン、1,000 メルの純音

【15AM-43】正しいのはどれか。

1. 4 ソーンの音の大きさは2 ソーンの音の4 倍である。
2. 1,000Hz、100dB SPL の純音の大きさは1 ソーンである。
3. 6 フォン相当の音の大きさのレベルの上昇によって大きさは約2 倍になる。
4. 4,000Hz、10 フォンの純音の大きさに相当する250Hz の純音の大きさのレベルは約30 フォンである。
5. 250Hz、60 フォンの純音の大きさは1,000Hz、60dB SPL の純音の大きさと等しい。

【16AM-42】音の高さについて誤っているのはどれか。

1. 音の振動周波数に関係する。
2. メル尺度で表される。
3. 1,000 Hz、40 dB SPL の純音を基準にする。
4. 周期的複合音の基音がなくても感じる。
5. 1 オクターブは2 倍の高さの違いを感じる。

【19AM-42】聴覚心理学的に純音の聞こえについて誤っているのはどれか。

1. 音圧が異なる2つの音の大きさが等しいことがある。
2. 同じ周波数でも音圧が変わると音の高さが変わることがある。
3. 同じ周波数でも音圧によって聞こえないことがある。
4. 同じ音圧でも周波数によって聞こえないことがある。
5. 同じ音圧で周波数が高くなると音の高さが低くなることもある。

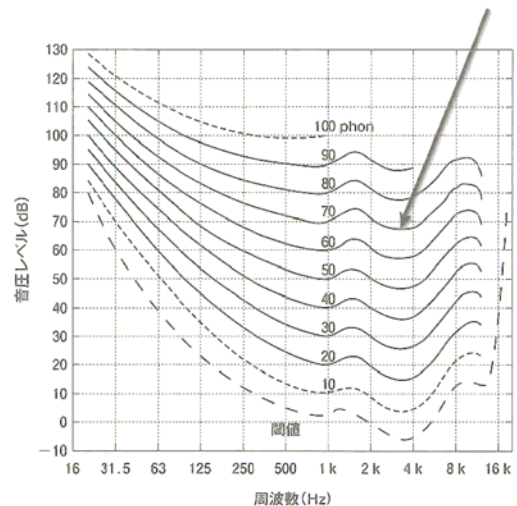
【19PM-153】誤っているのはどれか。

1. デシベルは対数尺度である。
2. ソーン (sone) 尺度は間隔尺度である。
3. 1dB は0.1B (ベル) である。
4. 音圧レベル40dB は基準音圧の100 倍の圧力に相当する。
5. 40phon の8kHz 純音は、音圧レベル40dB の1kHz 純音と等しい大きさに聞こえる。

【20PM-138】正しいのはどれか。

1. 2,000 メルの音の周波数は1,000 メルの音の2 倍である。
2. 音圧レベルが0dB SPL のとき音圧は0 μ Pa である。
3. 音圧レベルが10dB 上がると音の強度は10 倍となる。
4. 80phon の音の大きさは40phon の音の2 倍である。
5. ラウドネスレベルが等しければ純音の大きさは等しい。

【22AM-42】等ラウドネス曲線を示す。図と一致しないのはどれか。



1. 周波数が低くなるほどラウドネスは小さくなる傾向がある。
2. 音圧レベルを一定にしてもラウドネスは周波数に依存して異なる。
3. ラウドネスの周波数依存性は呈示レベルが大きいほど顕著になる。
4. 矢印で指した曲線は70phon のラウドネスレベルを持つ純音を表す。
5. 63Hz の純音を音圧レベル60dB で呈示した場合のラウドネスレベルは20phon である。

【23AM-42】単位について誤っている組合せはどれか。

1. ピッチ ————— ヘルツ (Hz)
2. 音 圧 ————— パスカル(Pa)
3. ラウドネス ————— ソーン(sone)
4. 音圧レベル ————— デシベル(dB)
5. ラウドネスレベル ————— フォン(phon)

【23PM-153】尺度水準が異なる組合せはどれか。

- a. 語音明瞭度 ————— 会話明瞭度
 - b. 知能指数 ————— 発達指数
 - c. ソーン尺度 ————— メル尺度
 - d. パーセル指数 ————— 機能的自立度評価法
 - e. ラウドネスレベル (phon) ————— 音 圧 (Pa)
1. a、b 2. a、e 3. b、c 4. c、d 5. d、e